

令和6年3月

世田谷区立瀬田小学校 学校長  
日高 玲子殿

### 学校関係者評価結果

委員長 百瀬 雪江  
委 員 五十嵐裕紀子  
黒崎 正裕  
鴻池 美穂  
佐藤 春美  
中村 綾子  
三原 和也

瀬田小学校学校関係者評価委員会では、本年度実施した「学校評価アンケート調査」の集計結果をもとに、当委員会としての所見をまとめ、別紙の通り報告書を作成した。

アンケートの回答方法が電子化となった昨年よりさらに低い保護者回収率（21％）での数値分析となった。極めて低い回収率であり、これをもって保護者の回答とするには不十分であるが、児童は例年に近い回収率となっているため、児童の回答をもとに評価分析とする。

電子化での回収についての操作方法などをまずは学校が正しく理解した上で、わかりやすく保護者に伝えていただくこと、また、子どもたちにとってより良い教育環境の整備を行い、必要に応じた学校改善を行っていくためにも、このアンケート実施の必要性を保護者に伝えていただくことを願う。

#### アンケート調査実施概要

|           | 総数  | 回収  | 回収率（％） |
|-----------|-----|-----|--------|
| 児童（５・６年生） | 270 | 166 | 61     |
| 保護者（全学年）  | 800 | 171 | 21     |
| 地域        | 15  | 15  | 100    |

肯定的回答（とても思う・思う）

否定的回答（あまり思わない・思わない）

その他の回答（わからない）

## 令和5年度学校関係者評価アンケート結果に対する考察および提言

### 1. 学習指導について

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。 |
| 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。               |
| 本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。     |
| 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。         |

肯定的回答が【児童】80%超え、【保護者】60%～80%超えと高い評価となっている。児童、保護者ともに概ね良好ではあるが昨年同様、評価に若干の差が見られるため、学校だよりや学年だよりなどを活用し、次年度以降も肯定的回答がさらに増えていくよう、授業や行事などを観てもらう機会を増やし、丁寧な説明や情報発信をより一層深めていただきたいと思います。

### 2. 生活指導について

|                                        |
|----------------------------------------|
| 本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。  |
| 本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。 |
| 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。            |

肯定的回答が【児童】80%超え、【保護者】60%～70%超えている。学校生活でのルールや決まりを守り、自ら考え行動できる児童が増え高評価を維持できるよう引き続き指導していただきたい。【地域】の肯定的回答も85%と昨年同様、高評価となっている。交通ルールを守り安全に学校生活が送れるよう引き続き見守っていただけることを願う。

### 3. 学校行事について

|                           |
|---------------------------|
| 学校行事は、子どもにとって楽しい。         |
| 学校行事は、子どもにとって達成感がある。      |
| 本校は、子どもの意欲を大切にしている。       |
| 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。 |

【児童】【保護者】ともに肯定的回答が80%を超えており、中でも87%の児童が「行事は楽しい」と回答している。校舎改築工事で校庭が使用できない状況のため、窮屈を強いられている児童へ遊び場、学びの場の確保のために、近隣学校施設の使用など、「多摩川の学び舎」の連携を強く求める。

### 4. キャリア教育について

|                                   |
|-----------------------------------|
| 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。        |
| 目標をもち、その実現に向けて努力している。             |
| 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。 |

|                      |
|----------------------|
| 区立中学校に関する情報が提供されている。 |
|----------------------|

「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」について【児童】の肯定的回答が昨年度より13%減り69%となっている。【児童】の「目標をもち、その実現に向けて努力している」、【保護者】の「本校の教員は、子どもに目標を持たせ、その実現のために支援している」については児童の83%に対し、保護者が56%と差があり、児童は努力していると感じているが、目標達成のために教職員が支援していると思っている保護者が56%にとどまっている。具体的にどのような支援をするのか伝わっていない状況が伺える。数値低下および児童と保護者の数値の差について理由を探り、今一度授業内容の見直しの必要性についても検討をしていただきたい。「区立中学校に関する情報が提供されている」については昨年同様50%以上が否定的回答、「わからない」の回答をしている。中学校に関する情報の提供や実際に中学校に足を運んで体験する機会など、直接的な中学生との交流の場を今以上に増やしていく必要がある。

## 5. 教職員について

|                      |
|----------------------|
| 本校（先生たち）は、丁寧に指導している。 |
|----------------------|

|                          |
|--------------------------|
| 本校（先生たち）は、子どものことを相談しやすい。 |
|--------------------------|

すべての項目において【児童】【保護者】ともに肯定的回答が多くなっているが【児童】の「先生たちは、ていねいに指導してくれる」は、昨年度より10%減り84%となっている。「先生たちに相談できる」はともに昨年同様の数値となっている。小さな変化を見逃さず子どもたちに目を向け、何でも先生たちに話すことのできる環境を築き今後も高評価を維持できるように努めて欲しい。

## 6. 学校全般について

|           |
|-----------|
| 学校生活は楽しい。 |
|-----------|

|        |
|--------|
| 学校が好き。 |
|--------|

|                            |
|----------------------------|
| 私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。 |
|----------------------------|

|              |
|--------------|
| 私は、塾で学習している。 |
|--------------|

|                              |
|------------------------------|
| 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。 |
|------------------------------|

|                      |
|----------------------|
| 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。 |
|----------------------|

|                      |
|----------------------|
| 子どもは、家庭で自主的に学習をしている。 |
|----------------------|

|                                                          |
|----------------------------------------------------------|
| 本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。 |
|----------------------------------------------------------|

【児童】の「学校生活は楽しい」「学校が好き」高評価ではあるが、昨年同様、否定的回答をした子どもたちがいることを忘れず、次年度以降も引き続ききめ細やかに子どもたちに向き合い、取り組んでいってもらいたいと思う。

「学び舎」の中学校については【児童】【保護者】ともに昨年から評価に変化は見られず、低評価となっている。連携がとれる体制ではあるが、上手く活用できていないと思われる。「学び舎」に興味、関心を持てるような連携や交流活動を期待したい。

## 7. 学校からの情報提供について

|                                      |
|--------------------------------------|
| 本校は、様々な便りなどで、保護者（地域）に情報を提供している。      |
| 「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。      |
| 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。          |
| 本校は、ホームページやメールなどで、保護者（地域）に情報を提供している。 |
| 学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。         |

【保護者】【地域】ともに「「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている」では半数が否定的回答、「わからない」となっており例年同様、低評価となっている。「学び舎」の活動については、十分な情報が保護者、地域に届いていないことが考えられる。どのように周知させていくか、方法の見直しの必要がある。

【保護者】は学校公開や保護者会で、【地域】は学校からのお知らせ（学校だより）などによって学校の様子が伝わっていると思われる。ともに肯定的回答が80%近く、今後も保護者にはより理解を深めてもらい、地域にも瀬田小に関心をもってもらいたいと思う。

## 8. 学校運営について

|                              |
|------------------------------|
| 本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。       |
| 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。 |
| 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。 |

【保護者】の「本校は保護者に重点目標を伝えている」は肯定的回答が73%に微増し、「校長をはじめ教職員は協力して教育活動に取り組んでいる」についても80%と微増しており高評価が続いている。さらに学校運営について理解を深めてもらう努力をしていただき、肯定的回答が80%以上になるよう努めてほしい。【地域】の「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」について否定的回答、「わからない」が26%から40%となり、低評価へと変化が見られた。学校の教育活動において地域の協力は不可欠であり、きめ細やかな対応が求められる。

## 9. 学校と家庭の連携について

|                                   |
|-----------------------------------|
| 私は、学校公開にすすんで参加している。               |
| 私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。 |
| 私は、今年度の学校重点目標を理解している。             |

【保護者】肯定的回答が「私は学校公開にすすんで参加している」は昨年同様91%「私は学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している」は69%となっている。校舎改築工事に伴い、PTA行事の減少は次年度以降も予想される。学校と保護者と地域が顔を合わせる交流の場であるPTA行事などは出来る限り継続的に行い、子どもたちの健やかな成長のためにもコミュニケーションが取れる機会を提供して欲しいと思う。

「私は今年度の重点目標を理解している」については52%と低い回答となっている。重点目標の理解については、学校と保護者との情報提供の方法などを再考することで理解が

より深まると思われる。

#### 10. 地域との連携について

|                           |
|---------------------------|
| 本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。  |
| 本校は、地域の活動などに協力的である。       |
| 本校は、地域に情報を提供している。         |
| 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。  |
| 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。 |

【保護者】【地域】ともに概ね高評価となった。地域の協力が学校活動にとって必要不可欠であるという認識が保護者にも浸透しており、学校、保護者、地域の連携を今後も期待する。

学校協議会や合同学校協議会、学校運営委員会について、それぞれの役割について地域の方にも理解が深まるよう、わかりやすい説明が求められる。

#### 11. 学校の安全性について

|                                        |
|----------------------------------------|
| 本校は、安全な学校づくりを進めている。                    |
| 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。 |
| 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。           |
| 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。                |

【保護者】【地域】ともに高評価となっている。昨年同様、校舎改築工事中に自然災害が発生した場合の、より詳細な対応方法を保護者に示し、子どもたちを守るために災害に備えて連携していく必要があると考える。地域が開催する防災訓練などを通し、日ごろから大きな災害に備えていくだけでなく、もしもの時にこそ地域と学校がそれぞれの役割を果たせるよう連携を強めていっていただきたいと願う。

#### 12. 本校の重点指導目的他（学校独自項目）について

|                                     |
|-------------------------------------|
| 自分からすすんで「おはようございます」が言える。            |
| ものを大切に、整理することができている。                |
| 命を大切にし、安全に気を付けて生活している。              |
| やさしい心で、相手の気持ちを考えて生活している。            |
| 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことができる。        |
| 自分自身を大切にしている。                       |
| よいと思うことを、進んで行うことができる。               |
| 学校でのできごとを家で話している。                   |
| 授業中、友達とのかかわりを通し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 |
| タブレットを正しく使っている。                     |

【児童】肯定的回答が80%以上と高評価となっているが、校舎改築工事によって校庭が使えず、体を動かす機会が極端に少なくなっている状況の中で、相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちを変わずに持ち続けられるように学校と家庭が連携していく必要があると思わ

れる。

|                                     |
|-------------------------------------|
| 自分の子供（本校児童）は、あいさつや返事ができるようになってきている。 |
| 自分の子供は、他者の気持ちを考えて行動している。            |
| 自分の子供は、自分自身を大切にしている。                |
| 自分の子供は、よいと思うことを、進んで行うことができる。        |
| 自分の子供は、学校でのできごとを家で話している。            |
| 自分の子供（本校児童）は、授業に集中し、生き生きと学んでいる。     |
| 自分の子供（本校児童）は、タブレットを正しく活用している。       |
| 私も児童によくあいさつをしている。                   |
| 本校の児童は、安全に気を付けて生活している。              |
| 本校の児童は、地域の行事や地域の人とのかかわりを大切にしている。    |
| 私は、本校の教育活動に協力していきたい。                |

【保護者】【地域】についても肯定的回答が多く一定の評価が得られていると思われる。教職員や児童もタブレットの使用にも慣れてきており、家庭でのタブレット使用に関しても正しく使えていると思われる。今後も子どもたちが健やかで安全な学校生活が送れるよう、地域と保護者が学校とともに子どもに関わっていくことで高評価の維持が期待できる。

### 13. まとめ

今年度は保護者のアンケートへの関心の薄さからか、回収率が21%と分析に値する回答が集まらなかった。学校評価アンケートは保護者の疑問や要望を学校に伝えるだけでなく、学校側の取り組みが保護者に伝わっているかを測る重要な機会であるという認識を、学校側も理解し、確実に回収率を上げる取り組みを実施していただくことが、次年度への最優先事項としていただきたい。アンケートに自由記載の欄を設けるなどアンケートの内容の見直しも検討したい。校舎改築工事で学校施設利用が限られる中での学校運営だが、教職員の方々の努力や工夫で「学校が楽しい」と思える子どもたちが多いことは評価したい。思いきり体を動かすことができない子どもたちの健康と体力向上のため、さらなる工夫をし取り組んでいただきたいと思う。

今後も保護者、地域、学校が連携して子どもたちを守り、育んでいくためにもより丁寧に情報を伝える必要があると思われる。「学び舎」の活動について否定的回答が続いており、どのように情報を伝えていくか、伝達方法も再考する必要があると思われる。地域と保護者に対する情報提供については、より一層の改善を図っていただきたい。児童に対しては中学校の様子を知ることによって身近に感じ、中学校への期待を持つことで前向きに取り組めるような情報提供、指導を期待したい。